

山形県行財政改革推進プランの目標指標に係る進捗状況

(令和元年6月時点) (第1回委員会資料に備考欄を追記)

○ H30年度末実績値をパーセントで表記している指標(25項目)について、備考欄に実績値の算出に用いた分母・分子の実数を整理。

第1 県民参加による県づくりの推進 ～多様な主体との連携・協働による地域の力の結集～

項目	目標指標	実績値 (基準値)	目標値	H30年度末 実績	備考
1 県と市町村との連携・協働					
(1) 地域創生に向けた県と市町村との連携・協働	県と市町村の連携・協働を推進する方針	—	方針策定 (H29年度)	県・市町村連携推進方針策定 (H30.3)	
(2) 市町村の自主的な行政運営への支援	連携中枢都市圏の形成数	—	1圏域 (R元年度)	—	
2 県民・NPO・企業・大学等との連携・協働					
(1) 県民・NPO等との連携・協働	県民のボランティア活動参加率	32.2% (H28年度)	40.0% (R2年度)	32.2% (H28年度) (次回調査R元年度以降)	平成28年度県政アンケート調査で、規正標本数2,812のうち、「この1年間にボランティア活動に参加したことがある」の回答数907
	やまがた社会貢献基金助成額(累計)	358百万円 (～H27年度)	459百万円 (～R2年度)	431百万円 (～H30年度)	
	県とNPO等との協働事業数	154事業 (H28年度)	170事業 (R2年度)	153事業 (H30年度)	
(3) 地域の多様な主体による河川等の維持管理	ふるさとの川愛護活動支援事業活動団体数	483団体 (H27年度)	500団体 (R2年度)	468団体 (H31.3)	
	ふれあいの道路愛護事業(旧マイロードサポート)登録団体数	494団体 (H27年度)	520団体 (R2年度)	483団体 (H30年度)	
	海岸清掃ボランティアの参加者数	3,289人 (H27年度)	4,000人 (R2年度)	3,844人 (H30年度)	
3 民間活力の活用					
(2) 民間委託	「地方行政サービス改革の取組状況等」(総務省調べ・公表)における調査対象業務について、全業務が「全部委託」又は「一部委託」	100% (H27年度)	100%を維持 (～R2年度)	100% (H30年度)	調査対象業務12業務のうち、12業務全てが「全部委託」又は「一部委託」 (①本庁舎の清掃、②本庁舎の夜間警備、③案内・受付、④電話交換、⑤公用車運転、⑥学校給食(調理)、⑦学校給食(運搬)、⑧学校用務員事務、⑨道路維持補修・清掃等、⑩情報処理・庁内情報システム維持、⑪ホームページ作成・運営、⑫調査・集計)
(3) 指定管理者制度	公の施設における指定管理者制度の導入率	79.8% (H28年度)	82.0% (R2年度)	81.4% (H30年度)	公の施設167施設のうち、136施設に導入
	指定管理者制度導入施設のサービス提供、管理運営状況の検証におけるA評価の割合	32.5% (H27年度)	40.0% (R2年度)	42.5% (H29年度)	評価項目数106項目のうち、45項目がA評価

第2 県民視点に立った県政運営の推進 ～情報発信力の強化と透明性の向上～

項目	目標指標	実績値 (基準値)	目標値	H30年度末 実績	備考
1 県内外への積極的な情報発信					
(1) 県内外への情報発信力の強化	情報発信に係る基本指針	—	基本指針策定 (H29年度)	山形県戦略的広報 基本指針策定 (H30.3)	
	県の情報発信向上に対する評価(県政アンケート調査等)	44.9% (H29年度)	上昇 (R2年度)	44.9% (H29年度) (次回調査R元年度以降)	平成29年度県政アンケートで、規正本数2,622のうち、県が行っている情報発信について「評価する」と「ある程度評価する」を合わせた回答数1,179
2 県民との対話を重視した県政運営					
(1) 県民との対話重視と県民の声の的確な把握	知事と若者の地域創生ミーティング	—	県内全35市町村で実施 (H29～R2年度)	15市町で実施 (H29～H30年度累計)	
	女性委員の審議会等登用率	51.4% (H27年度)	50%以上を維持 (～R2年度)	52.2% (H29年度)	審議会等の委員総数1,297人のうち、女性委員数677人
	若者委員を1名以上登用している審議会等の割合	100% (H28年度)	100%を維持 (～R2年度)	100% (H29年度)	審議会等の数94のうち、若者委員を登用している審議会等の数94
3 県政運営の透明性の確保					
(1) 情報公開・情報開放	「山形県オープンデータカタログ」の公開データセット数	37セット (H28年度)	150セット (R2年度)	100セット (H30年度)	
(2) 統一的な公会計の整備・公表	統一的な基準による財務諸表	—	作成・公表 (H29年度～)	作成・公表 (H30.12)	
4 県民の期待に応える信頼性の高い県政運営					
(3) 業務効率化の推進・県民利便性の向上	「やまがたe申請」の利用件数	8,589件 (H27年度)	12,000件 (R2年度)	9,676件 (H30年度)	
	基盤統合やクラウドサービスの活用による情報システムの運用コスト	—	H27年度比で3割削減 (R2年度)	H27年度比で1割削減 (H30年度)	H27年度の運用コスト244,295千円に対し、H30年度末時点では32,628千円削減
(4) 公共調達制度の改善	10万円以下の物品の地元調達率	95.5% (H28年度)	95%以上を維持 (～R2年度)	95.5% (H30年度)	物品調達36,508件のうち、34,869件が地元からの調達
	250万円以下の印刷物の地元調達率	99.9% (H28年度)	95%以上を維持 (～R2年度)	99.9% (H30年度)	印刷物の調達1,520件のうち、1,519件が地元からの調達
	100万円以下の業務委託の地元調達率	98.9% (H28年度)	95%以上を維持 (～R2年度)	99.1% (H30年度)	業務委託の調達5,771件のうち、5,718件が地元からの調達
5 県民の安全・安心を守る危機管理機能の充実					
(1) 事前防災・減災等のための多様な主体との連携・協働	県、市町村又は県・市町村合同で実施する防災訓練への参加者数	29,706人 (H27年度)	38,000人 (R2年度)	33,017人 (H30年度)	
(2) 危機対応力の強化	危機管理マニュアルの訓練実施率	88% (H27年度)	100% (R2年度)	96.4% (H30年度)	危機管理マニュアル総数391のうち、377のマニュアルについて訓練を実施

第3 自主性・自立性の高い県政運営を支える基盤づくり ～限られた行財政資源で最大効果の発揮～

項目	目標指標	実績値 (基準値)	目標値	H30年度末 実績	備考	
1 県民のための県庁づくり						
(2) 職員の能力を最大限に引き出す人材活用	男性職員の育児休業取得率(知事部局)	7.0% (H27年度)	20%以上 (R2年度)	8.8% (H30年度)	新たに子が生まれた男性職員102名に対し、取得者9名(知事部局)	
	男性職員の妻の出産時の子育て休暇(育児参加休暇)取得率(知事部局)	45.2% (H27年度)	全員取得 (R2年度)	44.1% (H30年度)	新たに子が生まれた男性職員102名に対し、取得者45名(知事部局)	
	管理職(課長級以上)に占める女性職員の割合(知事部局)	11.1% (H29年度)	15%以上 (R2年度)	13.7% (H31.4)	課長級以上の職員417名に対し、課長級以上の女性職員57名(知事部局)	
2 継続可能な財政基盤の確立						
(1) 歳入の確保	県税徴収率 現年度課税分	99.6% (H27年度)	99.7% (R2年度)	99.7% (H29年度)	調定額1,117.90億円のうち、収入済額1,114.02億円	
	県税徴収率 滞納繰越分を含めた現滞計	98.4% (H27年度)	98.5% (R2年度)	98.8% (H29年度)	調定額1,131.69億円のうち、収入済額1,117.57億円	
	未収金残高	36.9億円 (H27年度)	毎年度減少	41.2億円 (H29年度)		
	ふるさと納税額	165百万円 (H27年度)	265百万円 (R2年度)	314百万円 (H30年度)		
	県有財産の売却・有効活用による歳入	4.3億円 (H27年度)	12億円 (H29～R2年度累計)	8億円 (H29～H30年度累計)		
(2) 歳出の見直し	事務事業の見直し・改善 経費削減額	68.9億円 (H25～H27年度累計)	120億円 (H29～R2年度累計)	67.70億円 (H29～H30年度累計)		
	事務事業の見直し・改善 削減事務量	8.9万時間 (H25～H27年度累計)	8万時間 (H29～R2年度累計)	6.5万時間 (H29～30年度累計)		
	県の光熱水使用量等の削減(H25年度を基準年度としたR2年度の目標)	電気▲7.9%	電気▲7.9% 水▲15.3% 用紙類+6.0% 等 (H21年度を基準年度としたH27年度の実績)	電気▲7%	+3.3% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の使用量109,989千kWhに対し、H29年度の使用量113,600千kWh
		ガソリン・軽油▲7%		▲9.9% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の使用量2,457klに対し、H29年度の使用量2,214kl	
		灯油・重油▲7%		▲2.9% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の使用量12,615klに対し、H29年度の使用量12,253kl	
		ガス▲7%		▲6.1% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の使用量665千m ³ に対し、H29年度の使用量624千m ³	
		水▲7%		▲11.4% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の使用量885千m ³ に対し、H29年度の使用量784千m ³	
		用紙類▲7%		▲2.2% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の購入量131,420千枚に対し、H29年度の使用量128,561千枚	
		廃棄物▲7%		▲4.9% (H25年度を基準年度としたH29年度の実績)	H25年度の排出量3,093tに対し、H29年度の排出量2,941t	

第3 自主性・自立性の高い県政運営を支える基盤づくり
～限られた行財政資源で最大効果の発揮～

項目	目標指標	実績値 (基準値)	目標値	H30年度末 実績	備考
2 継続可能な財政基盤の確立					
(3) 健全な財政運営	臨時財政対策債と補正予算債等を除いた県債残高	▲2,280億円 (H15→H27年度)	プラン期間中における減少	+66億円 (H30→R元年度 当初予算編成時点) ※H30決算は集計中	
(4) 県有財産の総合的な管理運用	一般財産施設に係るトータルコストの県民1人当たりの負担額	15,900円 (H25年度)	H25年度以下 (R2年度)	14,800円 (H29年度)	
	県有財産の売却・有効活用による歳入【再掲】	4.3億円 (H27年度)	12億円 (H29～R2年度累計)	8億円 (H29～H30年度累計)	
(5) 地方公営企業における経営改善	企業局の各事業に係る経営戦略	—	策定 (H29年度)	山形県企業局経営戦略策定(H30.3)	
	企業局全体の経常収支	黒字 (H25～H27年度)	黒字の継続	黒字の見込み (H30年度)	
	企業局の電気事業会計からの一般会計への繰出し	50億円 (H25～H28年度累計)	50億円以上 (H29～R2年度累計)	30億円 (H29～H30年度累計)	
	県立病院全体の経常収支	赤字 (H25～H27年度)	黒字化の実現	赤字の見込み (H30年度)	
	流域下水道事業への公営企業会計の適用	—	適用 (R2年度)	—	
(6) 公社等の見直し	累積損失のある公社等の割合	15% (H28年度)	10%以下 (R2年度)	6.3% (H30年度)	公社等32法人のうち、累積損失のある公社等は2法人

(その他) 委員から御質問をいただいていた事項

○平成30年度のテレワーク(在宅勤務)の実績
35名延べ56日

